大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金　報告書
Outcome report

計画名 Plan	ナミビアにおける女性牧師増加の背景と位置づけ
氏名 Name	渡邉 麻友
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	アジア・アフリカ地域研究研究科・アフリカ地域研究専攻・2 年
渡航国 Country	ナミビア共和国
渡航日程 Travel schedule	2024 年 7 月 1 日～9 月 27 日

・ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
・写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
・各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
・日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

【研究の目的と背景】

本研究の目的は、ナミビア福音ルーテル教会（Evangelical Lutheran Church in Namibia：以下、ELCIN）を対象に、女性牧師増加の背景と彼女たちの位置づけを明らかにすることである。

宗教の現場で起こっているジェンダーの問題は多種多様であるが、最も歴史が長く、最も根本的なものは「女性は聖職者になる資格を有するか」という問いであり、「聖職者のほとんどは男性」という状況が今日まで続いている[1]。本研究の調査地であるナミビアは、国民の約 90%がキリスト教徒であり、アフリカの中でもキリスト教徒の占める割合が高い国の一つである。同国最大の教派である ELCIN では、1992 年に最初の女性牧師が誕生し、2023 年現在 159 人の牧師のうち約 40%の 64 人が女性である。女性牧師の割合が全体の 22%を占めるに過ぎないジンバブエのルーテル教会[2]や、2021 年に初めて女性牧師が誕生したマラウイのルーテル教会[3]と比較すると、ELCIN における女性牧師の割合は突出して高く、極めて特異な状況であると言える。ナミビアにおける先行研究では、教会史の一部として初期の女性牧師について断片的に記されてきた[4]が、女性牧師の増加背景や現在の教会のジェンダー構造の様相は明らかにされていない。そこで本研究は、男性牧師および女性牧師個人の経験の語りを手がかりに、女性牧師増加の背景と彼女たちの位置づけの解明を目指す。

【調査地と調査方法】

本渡航では、ナミビア北中部に位置するオニパ(図 1)を拠点に、文献収集、インタビュー調査、参与観察を行った。オニパは 1872 年にフィンランド伝道協会によりミッションステーションとして設立された町で、現在は ELCIN 本部や東教区事務所(図 2)がおかれている。文献収集は、本部にある ELCIN 公文書保管所と ELCIN 印刷所に併設された書店(図 3)にて行った。聞き取り調査は、ELCIN の男性牧師 16 名(うち 1 名は引退した監督[1])、女性牧師 14 名を対象に、英語で半構造化インタビューを実施した。インタビューは、北中部にある教会(図 4,5) などを訪問して行った。参与観察として、家庭内での性別役割分担を把握するために牧師夫婦宅で生活したほか、女性牧師を対象に 1 週間の仕事内容を観察および記録した。また、毎週日曜にはオニパ教会にて礼拝に出席した。

1 ルーテル派を含むプロテスタント教会における聖職者の最高位であり、英語では bishop を指す。

成果 Outcome

【公的な女性牧師の位置づけ】

はじめに、女性牧師の公的な位置づけを把握することを目標に、1992 年に初の女性牧師が誕生してから現在にいたるまでの ELCIN 教会法やジェンダーにかんする制度の動態を考察した。

その結果、女性牧師の按手[2]が承認される以前の教会法第 79 条には、牧師になるための条件として、「按手された 24 歳以上の男性」と記されていたことが明らかになった。文献や聞き取り調査によると、この「男性」という表記が女性按手に向けた審議の際に大きな障壁となったとされる。その後、度重なる議論の末、1991 年 10 月に開催された第 6 回総会にて、女性に聖職を解放することが承認された。以後、教会法は 2 回改正されたが、ジェンダーにかんする規定は記されていなかった。これについて、牧師本人たちは「ジェンダーにかかわらず等しい機会が与えられている」と認識していた。また、ELCIN には上級職のジェンダー比を調整する制度や政策はないことが明らかになった。しかし、ELCIN が所属しているルーテル世界連盟（Lutheran World Federation）が 2013 年に発行したジェンダー正義政策を適宜参照しているようだ。

これらを総括すると、1992 年以前の ELCIN では教会法レベルで女性が聖職から排除されていたが、それ以降は（たとえば女性の活躍を推進することを目的とした、上級職に女性を配置するシステムなども含めて）ジェンダーにかんする制度や規定はないことが明らかになった。

【牧師個人の語りによる女性牧師の位置づけ】

つぎに、男性牧師と女性牧師が現在の教会のジェンダーバランスや女性牧師の地位をどのように捉えているか明らかにするために、聞き取り調査を中心に考察した。まず、男性牧師と女性牧師の間に明確な役割の違いはないとした上で、良好な関係を築いていると語る人が大半を占めた。また、近年は女性の管区長[3]が増えていることが女性牧師の活躍を示していると主張する人が複数いた。実際、現在 21 の管区（うち 1 菅区は管区長不在）のうち半数の 10 管区は女性が指導している。これは、ジェンダーにかかわらず、牧師個人のリーダーシップ力や人柄によって選出されるという。その一方で印象的だったのが、男性牧師による女性牧師への評価である。たとえば、「女性牧師は共感性が高く、牧会カウンセリングに長けている」「女性は家庭で母としての役割を担うため、信徒に対しても面倒見がよい」といった意見があった。このような共感性や母性といった女性の特性を評価する意見からは、男らしさや女らしさをなくすジェンダーレスによる格差是正とは異なる説明ができそうだ。

以上のように、近年は管区長などの上級職に就く女性牧師が増えており、牧師個人の認識でも、男性牧師と同等もしくは実力次第でそれ以上の地位に位置づけられていることが明らかになった。このような「性別に関わらず能力ある個人を評価する動き」と「女性らしさが評価される状況」の共存が教会の文脈でいかにして可能になるのか、互いにどう作用しているのか今後詳しい分析を進めたい。

【ELCIN 初の女性監督】

最後に、本渡航で特筆すべき出来事として、2024 年 8 月 12 日から 15 日に開催された第 25 回総会にて、ELCIN 初でありナミビア初[4]の女性監督（bishop）が誕生したことがあげられる。ELCIN は、146 の教会が東教区と西教区の 2 つに分かれており、それぞれ選挙で選ばれた 1 人の監督が率いる仕組みを採用している。各教区には最終候補者が 3 名ずつ計 6 名おり、唯一の女性候補者だった N 氏（52）が東教区の監督に選ばれた。報告者は、この総会を ELCIN の Facebook アカウントによるライブ配信で視聴していた。投票結果が発表されると、信徒から初の女性監督を讃えるコメントが多く寄せられた。牧

---

2 牧師職への召命が公に認められる儀式を指す。

3 近隣の 5～10 の教会を監督する役職で、同じ管区の牧師からの投票によって 1 人が選出される。

4 アフリカにおける福音ルーテル派教会の中で南アフリカに続く二例目である。

師へのインタビューの中でも、ELCIN 初の快挙を誇りに感じているといった声を多く耳にし、否定的な意見を聞くことはなかった。この出来事は、教会内における女性の立ち位置が大きく変わりつつあることを示すとともに、今後の教会の方向性や国際的な立ち位置にも大きな影響を与えると考えられる。今回の調査では、幸運にも N 氏にインタビューをする機会が得られたので、彼女の語りを含めて引き続き考察を進めたい。

今後の展望 Prospects for the future

本報告書では、女性牧師の位置づけを中心に得られた成果を示した。もう一つの問いである女性牧師増加の背景については、現地で入手した按手一覧をもとに、牧師の人数の推移を示すグラフを作成した（図 6)。現在、インタビューの回答と併せて分析している最中である。

他のアフリカ諸国におけるルーテル教会を対象とした先行研究では、女性牧師が上級職から排除されていることや、教会内の女性差別は未だ根絶していないことが指摘されており、今回の調査で見聞きした ELCIN の状況と異なる部分も多い。今後は、他の教会でみられる男性優位のジェンダー構造が生じる要因と ELCIN の現状を比較する中で、女性聖職者の認否をめぐる問題や、教会のジェンダー格差是正に向け、学術的に寄与することを目指す。

この目標に向けて、本渡航では時間の制限と申請者の現地語運用力の限界により十分に達成できなかった教会会議の報告書やその他史料の収集を次回渡航での課題としたい。

【参考文献】
[1] 薄井篤子. 2004.「「女性の叙階」をめぐる問題：日本聖公会の場合」『宗教研究』77 (4): 442-443. [2] Moyo, E. 2021. Gender Inequality among Ministers in the Evangelical Lutheran Church in Zimbabwe (ELCZ): A Pastoral Womanist Critique of The Exclusion of Female Clergy from the Top/ Senior Leadership of the ELCZ, University of South Africa, PhD Thesis. [3] Gray, A. September 28th, 2021. "First Woman Ordained in the Evangelical Lutheran Church in Malawi", The Lutheran World Federation 〈https://lutheranworld.org/news/first-woman-ordained-evangelical-lutheran-church-malawi〉(最終閲覧日：2024 年 3 月 27 日）. [4] Buys G. L.& S. V. V. Nambala. 2003. History of The Church in Namibia, 1805-1990: an Introduction. Windhoek: Gamsberg Macmillan, p. 269.

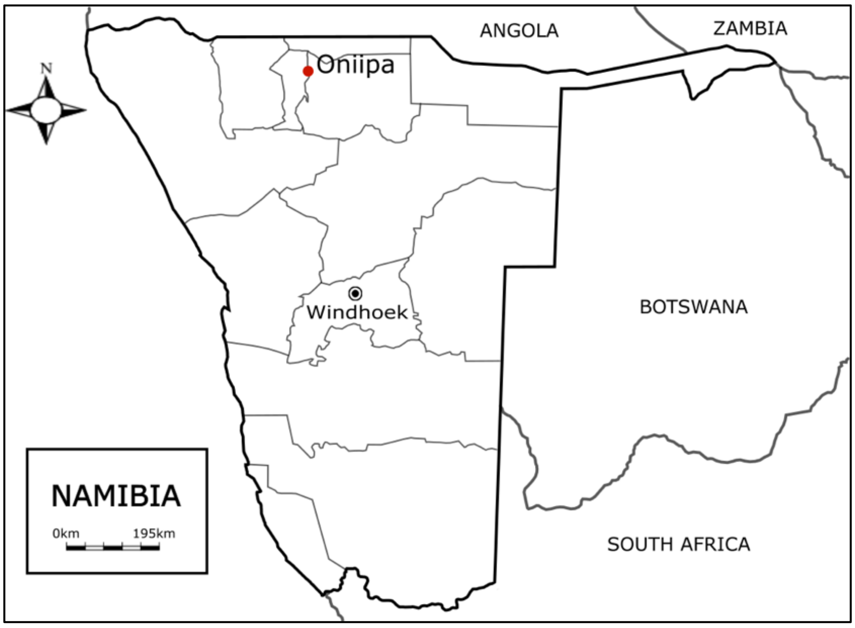

図 1：ナミビア共和国のオニパ（主な調査地）

図 2：ELCIN 東教区事務所

図 3：ELCIN 印刷所・書店

図 4：グロリア・ディ教会外観

図 5：ベティスダ教会内観

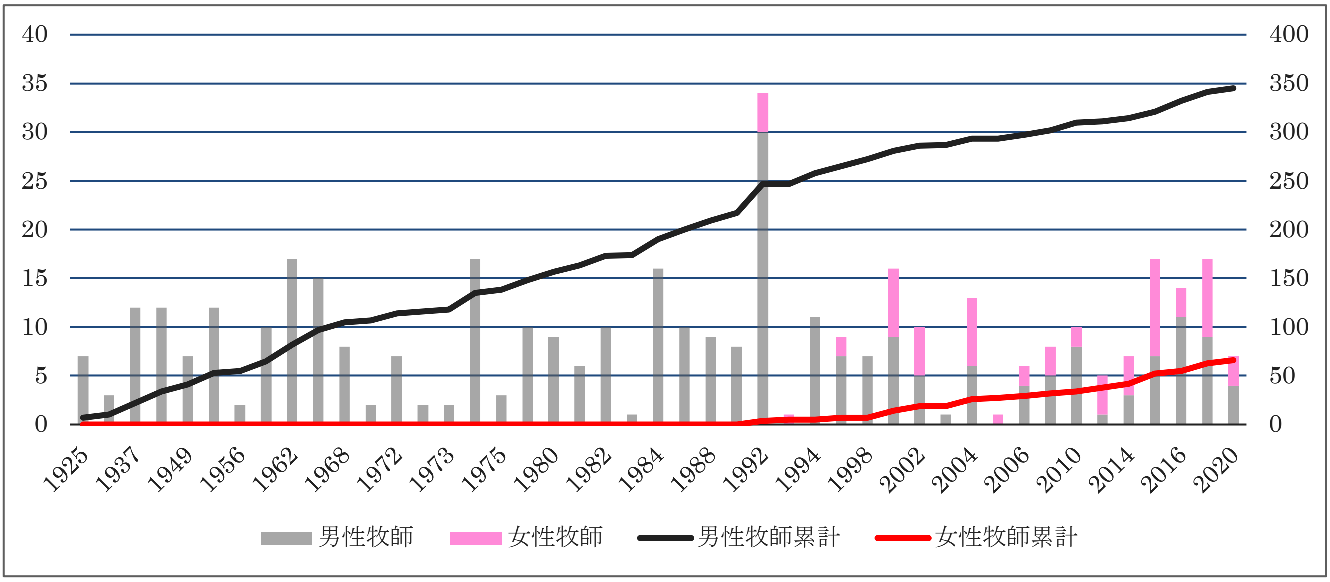

図 6：ELCIN 牧師数の推移（*Ondjokonona Yaasita naatelohi mu ELCIN* 1925-2009 をもとに報告者作成）